

本学の学部と修士課程と博士課程

- ➔ 本学の学部と修士課程と博士課程とは
- ➔ 学部
- ➔ 修士課程
- ➔ 博士課程
- ➔ 学部生・院生の研究内容

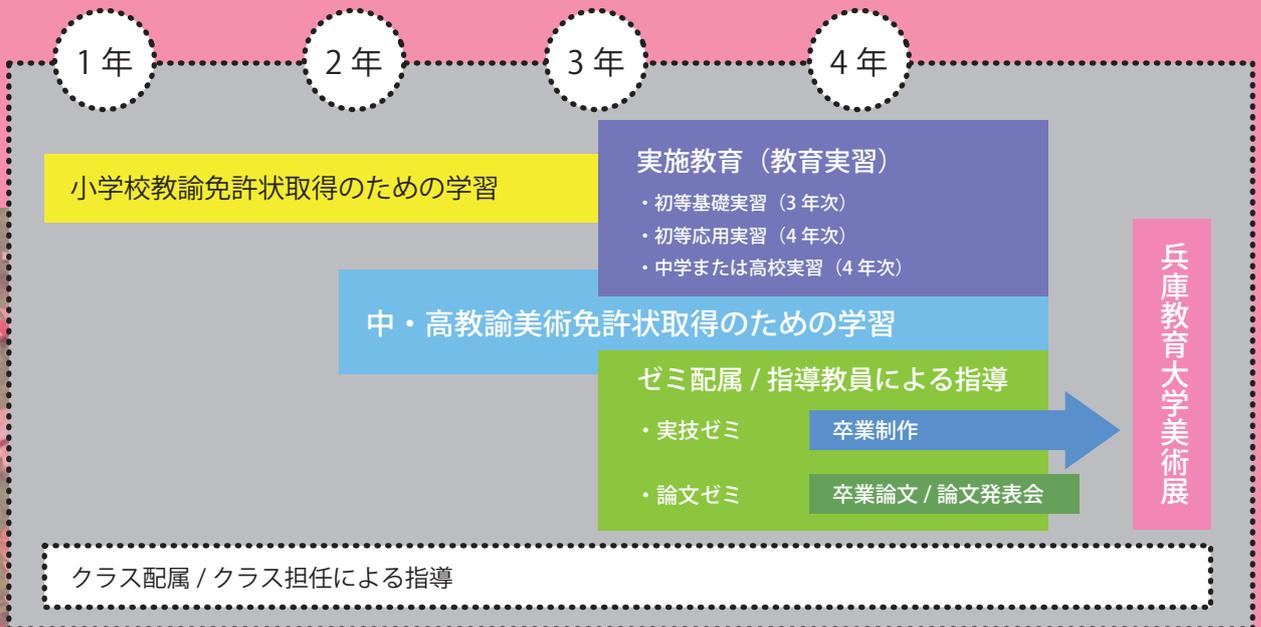
学部・修士課程・博士課程

「芸術棟」という建物では、主に美術と音楽の学部学生、修士課程の院生、博士課程の院生、そして研究生が、日々制作や研究に励んでいます。それぞれ、どのような大学生活を送っているのかを見てみましょう。

学部

「美術」を選択した学生は、絵画・彫塑・デザイン・工芸・美術史学・美術教育の専門的な授業を受け、美術に関する幅広い実技力と知識・考え方を身につけることができます。

3 年生からはゼミに所属し、自分の選択した領域の研究及び制作を深めていきます。論文ゼミでは卒業論文の執筆、実技ゼミでは卒業制作に向けての指導を受けることになります。卒業前には、「論文発表会」と「兵庫教育大学美術展」への出品という大きな舞台が用意されています。



本学の学部と修士課程と博士課程

- ➔ 本学の学部と修士課程と博士課程とは
- ➔ 学部
- ➔ 修士課程
- ➔ 博士課程
- ➔ 学部生・院生の研究内容

修士課程

修士課程では、大学卒業と同時に進学してきたストレートマスターと呼ばれる人たちと、教員の研修制度を利用して学ぶ現職マスター、または教職以外の経歴を持つ人たちが、共に学び合っています。専門の授業とともに、5月頃からは、指導教員のもとで、修士論文の執筆に向けた研究を進めていくこととなります。なかには本格的な制作活動を行っている院生もあり、学部学生に、良い刺激を与えています。



博士課程

兵庫教育大学と、上越教育大学、鳴門教育大学、岡山大学教育学部の4大学で、連合大学院が構成されています。この大学院の特色は「教育実践学」を探究するという点にあり、教育の理論と実践を架橋する専門的な研究が進められています。博士課程で学ぶ院生は、自分の専門分野を深め、学会発表や論文執筆などを活発に行っています。



本学の学部と修士課程と博士課程

- ➔ 本学の学部と修士課程と博士課程とは
- ➔ 学部
- ➔ 修士課程
- ➔ 博士課程
- ➔ 学部生・院生の研究内容

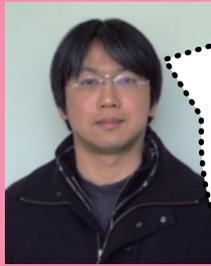
学部生・院生の研究内容

学生、院生の研究内容を見てみましょう。今年（2013年1月）の初田ゼミを例に挙げてみます。



博士課程 2 回生

本学の修士課程を修了し、博士課程に進学しました。幼児の造形教育が専門で、「動機づけ」や「ほめ言葉」について研究しています。



博士課程 1 回生

川崎医療福祉大学医療福祉デザイン科に勤務しています。「メディカルイラストレーション」について研究をしています。



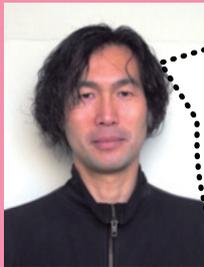
修士 2 回生

神戸市の図工専科教員です。教員研修制度を利用して 2 年間学ばせてもらいました。論文題目は「図工専科教師の力量形成のための研修モデルプラン構築」です。



修士 2 回生

内モンゴルから来た留学生です。論文の題目は「造形遊びの研究—内モンゴルにおける展開可能性の検討—」です。



修士 1 回生

本学を 23 年前に卒業し、明石市で図工の専科教員をしています。教員研修制度を利用して再び母校で学ぶことになりました。「感性」について研究しています。



修士 1 回生

本学を卒業後、修士課程に進学しました。抽象画が、何歳頃から理解され始めるのか、また一般に、抽象画はどの程度理解され受容されているのか、考えていこうとしています。また、エッチング（腐食銅版画）の制作を行っています。



学部 4 回生

論文題目は「図画工作科におけるコミュニケーション能力の育成」です。実技ゼミは「絵画」に所属しており、沖繩紅型の図柄を基にした切り絵作品を制作しています。



学部 3 回生

図工の授業で、子どもがどのように「工夫」するのか、ということについて研究しています。現在は、教育実習で集めてきたデータを分析中です。なお、実技ゼミは「彫塑」に所属しており、自分の生き方を立体で表現できたいかなと思っています。



研究生

内モンゴルから来た留学生です。修士課程への進学を目指して、日本語と美術教育の勉強を進めています。